

排泄の工程分析 チェック表

所属

氏名

排泄のプロセス	区分	判定	チェックすべき項目
尿意・便意の知覚	行動		(尿意・便意)を感じることができる
			(尿意・便意)と排泄を結びつけて自覚できる
			(尿意・便意)を伝達できる
			排泄をある程度我慢できる
トイレ(ポータブル)への移動	行動		(自立で、介助があれば)起き上がる
			(自立で、介助があれば)座れる
			(自立で、介助があれば)立ち上がる
			(自立で、介助があれば)歩ける
			(車椅子などを使って)移動できる
			(自立で、介助があれば)トイレの扉を開けて入ることができる
			排泄はトイレをするという意識がある
	環境		トイレの場所や、トイレまでの道順がわかる
			トイレに行くまでに障害物がない。手すりが設けてある
			廊下などに段差・明るさ・滑りやすさに問題がない
		トイレは居室から近く、扉は開けやすくなっている	
排泄準備・排泄	行動		便座を確認できる
			(自立で、介助があれば)便座に座り、立ち上がるができる
			(自立で、介助があれば)ズボンや下着を上げ下げできる
	環境		ズボンや下着は脱ぎやすく履きやすいものを選んでいる
			トイレ内は、動きやすいスペースが確保されている
			トイレ内は、明るく、室温や便座の温度は調節してある
			足が床につき、座りやすいように便座の高さは調節してある
			便座のフタは開きやすくなっている(フタはあらかじめ外してある)
			トイレ内に、上下移動、横移動のための介助バーが設置されている
			なにかあったときに家族を呼ぶことができるようにしてある
	なにかあったときに外から家族が入れるようにしてある		
後始末	行動		(自立で、介助があれば)排泄後、排水レバーを操作できる
			(自立で、介助があれば)トイレットペーパーで陰部を拭ける
			(自立で、介助があれば)手を洗うことができる
	環境		トイレットペーパー(あるいは落とし紙)は取りやすくしてある
			パッドやおむつを捨てるゴミ箱がある